

明石で華ひらく知と美の世界

— 蛻 巖 ・ 華 山 が 遺 し た も の —

やなだぜいがん
梁田蛻巖は江戸時代中期における屈指の漢詩人として知られる人物です。蛻巖はその後
半生を明石藩に仕える^{じゅしゃ}儒者として暮らしました。蛻巖は、幕府の儒官であった新井白石や^{はくせき}
室鳩巢^{むろきゅうそう}らとも交流のあった人物です。

画家・蘭学者^{らんがくしゃ}として有名な渡辺華山^{かざん}もまた明石にゆかりのある人物です。三河国(現愛知県)田原藩士として江戸で暮らした華山は、江戸詰めの明石藩士たちと絵画サロンを通じて盛んに交流しました。

本展では、梁田蛻巖の遺した漢詩や碑文から、当時の明石のすがたや周囲の人々との交流を、また、渡辺華山と弟子の^{つばきちんざん}椿 椿山の絵画や文献資料から、華山たちと明石藩主・藩士とのあまり知られていない関係についてご紹介します。

◆ 本展のみどころ

1. 明石の偉人「梁田蛻巖」の書をたっぷり！

儒学者であり、漢詩人の明石藩士^{やなだぜいがん}梁田蛻巖。今ではその名を知る人は少ないかもしれません。しかし、彼は江戸で活躍した^{おぎゅうそらい}荻生徂徠や^{あら いはくせき}新井白石、^{むろきゅうそう}室鳩巢などの^{そうそう}錚々たる学者たちと肩を並べ、親交を深め、俳句にも秀でた才能を発揮した人物です。明石を愛した蛻巖をたっぷりご紹介します。

2. あの渡辺崋山の作品がついに明石に！

田原藩家老としての顔よりも、画家であり、蘭学者としての渡辺崋山が有名かもしれません。今年大阪で、崋山の国宝「鷹見泉石たか み せんせき像ぞう」が展示されました。この作品がついに明石でも見られます。とは言っても、本物は東京に帰り、今回は田原市博物館より国宝のレプリカをお借りしました。他にも重要文化財のレプリカを含め崋山の作品を一同に展示します。この機会に渡辺崋山の作品をぜひ明石でご覧ください。

3. 2組の師弟共演！

渡辺崋山の高弟、椿椿山には、明石藩主や明石藩士が入門して画を学んでいます。今回は、椿椿山の「不二山図ふじやまず」、その弟子で明石藩主松平齊宜なりことの「富士図」の師弟作品が並びます。また、京都で活躍した円山派の祖、円山応挙まるやまおうきよの師は、明石出身の石田幽汀ゆうていです。地元に残る師弟の作品は、存在感たっぷりの名作です。

4. 渡辺崋山と明石藩士の意外な関係!?

明石と田原（愛知県）は地図上では遠いですが、江戸ではお隣同士でした。その密接な関係の一端を、資料を通してご紹介します。

◆ 展覧会概要

- 1 名 称 企画展 明石藩の世界 13
「明石で華ひらく知と美の世界—蛻巖・^{ぜいがん} ^{かざん} 華山が遺したもの—」
- 2 会 期 2025 年（令和 7 年）9 月 2 0 日（土）～ 1 1 月 3 日（月・祝）
※月曜休館
※10 月 13 日、11 月 3 日は開館
- 3 開館時間 9 時 30 分～17 時 30 分（入館は 17 時まで）
- 4 会 場 明石市立文化博物館 特別展示室（1 階）
明石市上ノ丸 2 丁目 13 番 1 号 電話：078-918-5400
【交通案内】J R・山陽電鉄「明石」駅より北へ徒歩 5 分
- 5 主 催 者 明石市、明石市立文化博物館、神戸大学大学院人文学研究科地域連携センター
- 6 観 覧 料 大人 200 円、大高生 150 円、中学生以下無料
※20 名以上の団体は 2 割引。
※65 歳以上の方は半額。身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳・ミライロ ID 手帳提示の方と介護者 1 名は半額。
※シニアいきいきパスポート提示で無料。
- 8 主な展示資料
第 1 章 梁田蛻巖と明石
第 2 章 渡辺華山と明石藩士たち
第 3 章 明石の文人たち
- 9 関連事業 ※観覧券が必要です。
① 講演会「梁田蛻巖と明石の人びと」【要申込み】
日時：令和 7 年 9 月 2 7 日（土）13：30～15：00
定員：8 0 名
講師：石橋 知之氏
（神戸大学大学院人文学研究科地域連携センター学術研究員）
場所：当館 2 階大会議室

② 講演会「明石藩の絵画について」【要申込み】
日時：令和 7 年 9 月 2 8 日（日）13：30～15：00
定員：8 0 名
講師：橋本 寛子氏（神戸女学院大学等兼任講師）
場所：当館 2 階大会議室

③ 講演会「明石の地球儀とその原図について－明石と津山をつなぐ蘭学の系－」

【要申込み】

日時：令和7年10月4日（土）13：30～15：00

定員：80名

講師：小島 徹氏（津山洋学資料館館長）

場所：当館2階大会議室

④ はじめての古文書講座【要申込み】

日時：令和7年10月26日（土）13：30～15：00

定員：60名

講師：当館学芸員

場所：当館2階大会議室

⑤ 展示解説【申込み不要】

日時：毎土曜日（9/27、10/4を除く） 10：30～11：30

13：30～14：30

場所：当館1階特別展示室

*各イベントでは、手話通訳者の派遣が可能です。希望の方は【手話通訳希望】【要約筆記希望】にチェックを入れてください。（直前の申込みの場合は、対応できないことがあります。）

【申込方法】

9月2日（火）午前10時～前日午後5時までに当館ホームページの申込フォームから先着順で受付します。ホームページから申込みができない場合は電話でお問合せください。

1グループにつき4名様までの申込とさせていただきます。5名以上のお申込をご希望の方は、代表者名を変えて、分けて申込みいただくようお願いいたします。

申込み後にキャンセルや人数が減る場合は、電話またはメールにてご連絡ください。

定員に達した場合はエラーページが表示されます。（キャンセルが出た場合は、再度、入力ページが表示されるようになります。）

■■お問合せ先■■

明石市立文化博物館

〒673-0846 兵庫県明石市上ノ丸2丁目13番1号

TEL:078-918-3051 FAX:078-918-5409 展示担当学芸員:須貝

TEL:078-918-5400 FAX:078-918-5409 広報担当:山口・武井

◆ 広報用画像

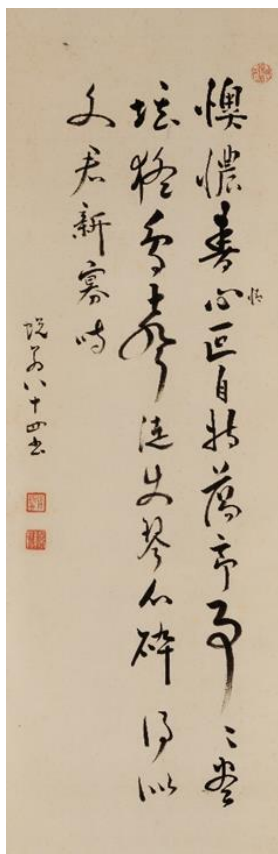
企画展 明石藩の世界 13「明石で華ひらく知と美の世界ー蛻巖・華山が遺したものー」の画像データをプレス掲載用にご用意しております。使用を希望される際は本書面最終頁の別紙、申込用紙にご記入のうえ FAX またはメールで返送をお願いいたします。



1. 原穀（池田春暉）筆梁田蛻巖肖像 江戸時代
本立寺蔵写真より



3. 重要文化財 椿椿山筆「渡辺華山像」嘉永6(1853)年
田原市博物館蔵 展示資料は複製



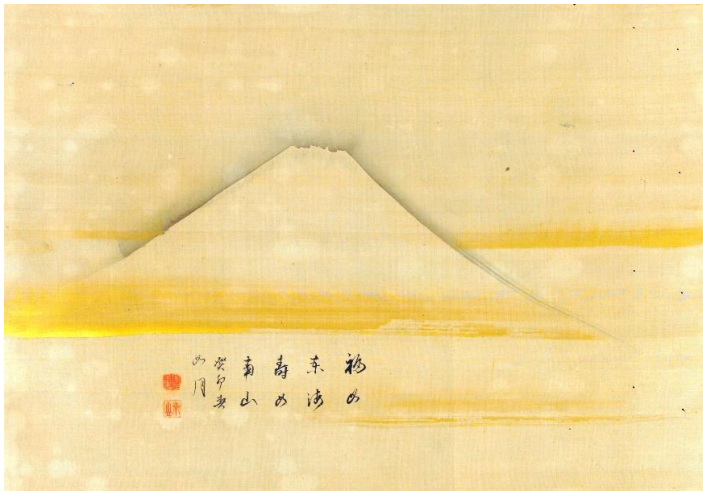
2. 蛻巖書軸「春詞」宝暦5（1755）年ころ 明石市蔵



4. 渡辺華山筆「春溪高隠図」天保6（1835）年 兵庫県立美術館蔵



5. 椿椿山筆「不二山図」 天保 13 (1842) 年 兵庫県立美術館蔵



6. 明石藩主松平斉宜筆「富士図」 天保 14 (1843) 年 明石市蔵黒田家資料



7. 横藤村宗禎作「地球儀」 弘化 4 (1847) 年 明石市指定文化財、明石市蔵

企画展

「明石で華ひらく知と美の世界－蛻巖・華山が遺したもの－」

FAX 送付先(078)918－5409

ご希望の画像番号に○をつけてご返送をお願いいたします。本展をご掲載いただける場合、読者・視聴者プレゼント用招待券(最大 10 組 20 名様まで)もご用意しておりますので、ご連絡ください。

番号	必要キャプション及びクレジット
1	原穀（池田春暉）筆梁田蛻巖肖像　本立寺蔵写真より
2	蛻巖書軸「春詞」　明石市蔵
3	椿椿山筆「渡辺華山像」　田原市博物館蔵　展示資料は複製
4	渡辺華山筆「春溪高隠図」　兵庫県立美術館蔵
5	椿椿山筆「不二山図」　兵庫県立美術館蔵
6	明石藩主松平齊宜筆「富士図」　明石市蔵黒田家資料
7	藤村宗禎作「地球儀」　明石市指定文化財、明石市蔵

貴社名	
媒体名	(新聞・雑誌・ミニコミ・TV・ラジオ・その他)
ご担当者名	
ご住所	〒
電話番号	TEL FAX
メールアドレス	@
URL	
掲載・放送予定日	
写真到着希望日	
招待券希望枚数	組 名分希望

・データの使用は、本展の紹介用のみとさせていただきます。それ以外での使用はできません。
使用後は速やかにデータの消去をお願いします。
・広報用画像にはクレジットを必ず記載してください。複数枚ある場合には、記事内の一カ所、作品全体にかかるように記載してください。
・原稿の確認にはお時間を頂戴しますので、ご了承ください。
・本展に関する記事をご掲載いただきました際には、お手数ですが、掲載誌・紙または記録媒体(DVD など)をお送りください。
・本展会場の取材、撮影をご希望の場合には、事前にご連絡ください。